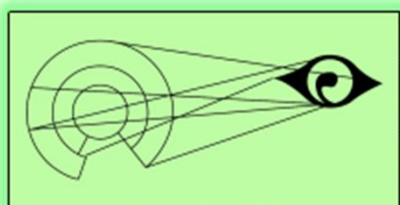


令和5年度（2023年度） 第1回共同研究推進委員会



期日 令和5年5月12日(金) 13:30～15:20

北海道教育研究所連盟
共同研究推進委員会

【開会】

第18次共同研究推進委員 自己紹介

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ○石狩教育研修センター | ○後志教育研修センター |
| ○上川教育研修センター | ○留萌管内教育研究所 |
| ○胆振教育研究所 | ○室蘭市教育研究所 |
| ○十勝教育研究所 | ○釧路教育研究所 |
| ○札幌市教育センター | |
| ○北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター | |

各機関から1名

●北海道立教育研究所から2名

自己紹介

- ・お名前 ・所属と学校名 ・担当学年や教科
- ・研究所、センターでの業務内容 等

本日の内容

【説明・協議Ⅰ】

- 第18次共同研究の概要について

【説明・協議2】

- 第18次共同研究1年次に係る業務推進について
- 第18次共同研究の今後の方向性について

【連絡・閉会】

本日の内容

【説明・協議Ⅰ】

- 第18次共同研究の概要について

【説明・協議2】

- 第18次共同研究1年次に係る業務推進について
- 第18次共同研究の今後の方向性について

【連絡・閉会】

【説明・協議Ⅰ】第18次共同研究の概要について

共同研究推進委員会役員選出

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ○石狩教育研修センター | ○後志教育研修センター |
| ○上川教育研修センター | ○留萌管内教育研究所 |
| ○胆振教育研究所 | ○室蘭市教育研究所 |
| ○十勝教育研究所 | ○釧路教育研究所 |
| ○札幌市教育センター | |
| ○北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター | |
| | ○の機関から各1名 |
- 北海道立教育研究所から2名

【説明・協議Ⅰ】第18次共同研究の概要について

子供たちに育むべき資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

【ポイント】

- ✓ これらの資質・能力を育むためには、**新学習指導要領の着実な実施**が重要
- ✓ これからの学校教育を支える基盤的なツールとして、**ICTの活用**が必要不可欠

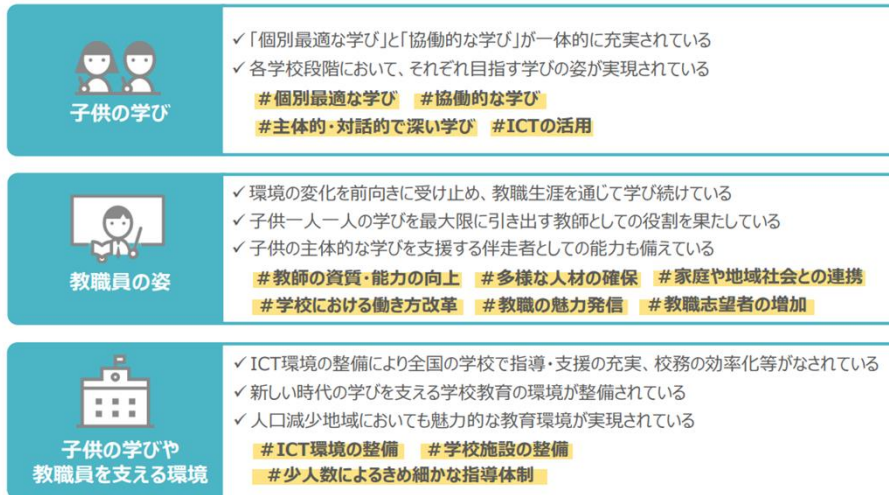
**全ての子どもたちの可能性を引き出す
個別最適な学びと、協働的な学び**

出典：「『令和の日本型学校教育』の構築を 目指して（答申）」【総論解説】 令和3年 中央教育審議会

【説明・協議Ⅰ】第18次共同研究の概要について

2020年代を通じて実現を目指す学校教育
「令和の日本型学校教育」の姿

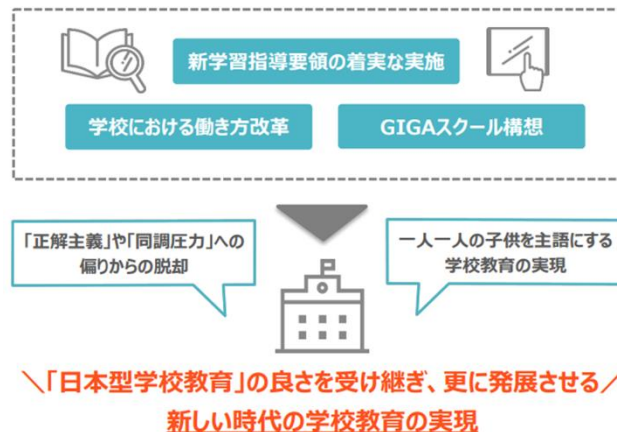
＼全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現／



出典：「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」【総論解説】 令和3年 中央教育審議会

【説明・協議Ⅰ】第18次共同研究の概要について

第18次共同研究テーマ



一人一人の子どもを主語にする
学校教育の実現に向けて

【説明・協議Ⅰ】第18次共同研究の概要について

一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現に向けて

【ねらい】

各教育研究所・研修センターがより連携・協働できる体制を整備し、学校支援のために活用する、個別最適な学びと協働的な学びの実践事例の収集・提供をすることにより、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての教職員の能力の向上に資する。

【研究内容Ⅰ】

全ての子どもたちの可能性を引き出す

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

【研究内容Ⅱ】

子どもの成長を支える連携・協働体制の構築

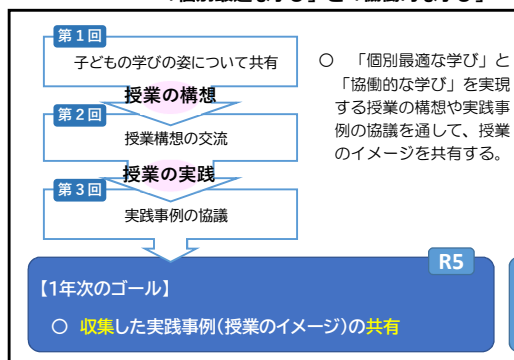
道研連加盟機関である各教育研究所・研修センターの

北海道教育研究所連盟第18次共同研究（令和5年度～令和7年度）推進計画

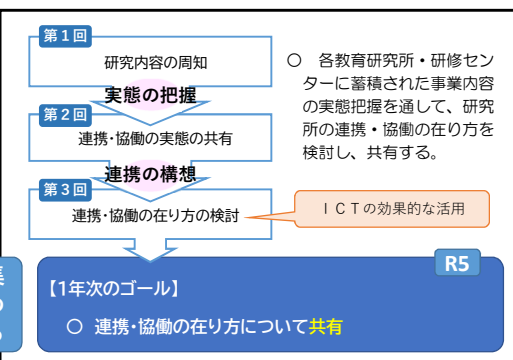
一人一人の子どもを主語にする 学校教育の実現に向けて

子どもの主体的な学びを
支援する伴走者として

研究内容Ⅰ 全ての子どもたちの可能性を引き出す 「個別最適な学び」と「協働的な学び」



研究内容Ⅱ 子どもの成長を支える連携・協働体制の構築



【2年次のゴール】

- 1年次に収集した事例の評価・改善・実践

集める

【2年次のゴール】

- 複数の加盟機関が連携・協働した事業の実践・交流（道研連研究発表大会等）

磨く

【3年次のゴール】

- 実践事例の普及・還元（道研連Webページの掲載・リーフレット等配付）

広める

【3年次のゴール】

- 持続可能な連携・協働体制の構築に向けた改善・普及

【説明・協議Ⅰ】第18次共同研究の概要について

全ての子どもたちの可能性を引き出す

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

(1) 「個別最適な学び」に関する授業実践例

ア 指導の個別化

子ども一人一人の特性・学習進度・学習到達度に応じた指導方法・教材等の工夫

イ 学習の個性化

子ども一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性に応じた学習活動や課題に取り組む機会の設定

(2) 「協働的な学び」に関する授業実践例

多様な他者と協働し、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出す学習活動や場面の設定

【説明・協議Ⅰ】第18次共同研究の概要について

全ての子どもたちの可能性を引き出す

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

動画視聴「子どもの主体的な学びを実現する

中学校でのクラウド活用」

<動画視聴の視点>

- ・ 現在、すでに取り組んでいることや取り組みそうなこと
- ・ 動画における授業へのイメージ

本日の内容

【説明・協議Ⅰ】

- 第18次共同研究の概要について

【説明・協議2】

- 第18次共同研究1年次に係る業務推進について
- 第18次共同研究の今後の方向性について

【連絡・閉会】

【説明・協議2】 第18次共同研究1年次に係る業務推進について

＜協議の視点＞ ※研究内容Ⅰに係るイメージの共有

「個別最適な学び」や「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業のイメージを共有し、研究を進めていく上で気になること等の御意見を出していただく。

ア) 子どもの学びの姿の共有

イ) 授業のイメージの共有

- ・すでに実践していること
- ・少し工夫したらできそうなこと
- ・ICTを活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に繋がりそうなこと

ウ) 研究を進めていく上での気になること 等

グループ25分、全体交流10分

【説明・協議2】第18次共同研究1年次に係る業務推進について

＜第2回目の委員会までをお願いしたいこと＞

**授業の構想を
交流できる準備を
お願いします！**

※口頭での交流を基本としますが、写真等を画面共有いただいても構いません。

【説明・協議2】第18次共同研究1年次に係る業務推進について
年間スケジュールについて

5月12日(金)	【第1回 共同研究推進委員会】※オンライン
6～10月	・授業の構想 ・各教育研究所・研修センターに蓄積された実践等の実態の把握
7月28日(金)	夏季所員学習会
8月31日(木) 9月1日(金)	【第78回北海道教育研究所連盟研究発表大会(十勝大会)】 ・研究発表
10月20日(金)	【第2回 共同研究推進委員会】※オンライン ・収集する実践事例の方向性(形式や内容等)の確認 ・複数の研究所・センターが連携した取組に係る協議
11月24日(金)	冬季所員学習会
11月～12月	・授業の実践
1月12日(金)	【第3回 共同研究推進委員会】※オンライン ・収集した実践事例を道研連加盟機関に共有 ・連携・協働体制や連携した実践内容の方向性の確認 ・第18次共同研究2年次に向けて
2月7日(水)	【連盟委員会】R5事業報告 R6事業計画提案

本日の内容

【説明・協議1】

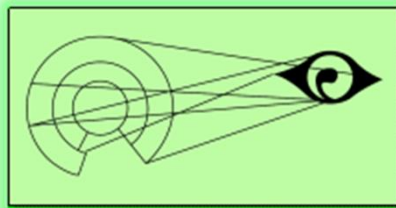
- 第18次共同研究の概要について

【説明・協議2】

- 第18次共同研究1年次に係る業務推進について
- 第18次共同研究の今後の方向性について

【連絡・閉会】

令和5年度（2023年度） 第1回共同研究推進委員会



期日 令和5年5月12日(金) 13:30～15:20

**北海道教育研究所連盟
共同研究推進委員会**